



12月23日、山形県の1市2町(山形市・中山町・山辺町)を給水区域とする最上川中部水道企業団と、災害時相互応援に関する協定を締結しました。

両地域は、地理的条件の違いから同時に被災する可能性が低く、この協定により、大規模災害などで水道が使えなくなった場合に他方から応急給水や復旧支援を受けることができます。

小竹市長は「相互協力により水とともに安心も届けられる体制が構築されることを頼もしく感じます」と期待を述べました。

最上川中部水道企業団と災害時応援協定



12月18日、伊藤正さんが市長室を訪れ、第30回三重県歯科保健大会『いい歯の8020コンクール』での三重県歯科医師会会長賞(優秀賞)の受賞を報告しました。

このコンクールは、80歳以上で20本以上の歯があり全身的に健康なことを表彰するもので、今回、伊藤さんは97歳で受賞され、「幼い頃から食後の歯磨きを欠かさずしてきた。趣味は歩くこと、釣りや家庭菜園、マジックなどたくさんあり、日々を楽しんでいる」と話してくれました。

97歳で『いい歯の8020コンクール』受賞！



12月1日、加茂小学校6年生の上村颯土さんが市長室を訪れ、「小学生ロボコン2025(全国大会)」出場報告と予選会で使用した自作ロボットを披露しました。

上村さんは「鳥羽プログラミング道場」に所属しており、9月に開催された予選会(個人戦)において最優秀賞を受賞し、全国大会への出場権を獲得しました。12月7日に開催された全国大会はチーム戦で行われ、「ゴールデンブリッジ」のチームの一員として出場し、全国2位の成績を収めました(写真右端が上村さん)。

小学生ロボコン2025全国大会に出場！



12月20・21日に市民体育館で「山田優杯鳥羽・エペフェンシング大会」を開催し、県内外から約100人の選手が参加しました。

団体戦には、鳥羽市出身でオリンピックメダリストの山田優選手や日本代表の松本龍選手も参加し、出場選手たちは、トップ選手からアドバイスをを受けたり、プレーを間近で見るなど貴重な経験となりました。

2日目には、日本代表の鈴木穂波選手も大会に駆けつけ、個別レッスンやチャンバラフェンシングにも参加いただきました。

2日間を通じてフェンシング競技の魅力あふれる大会となりました。

山田優杯鳥羽・エペフェンシング大会開催